

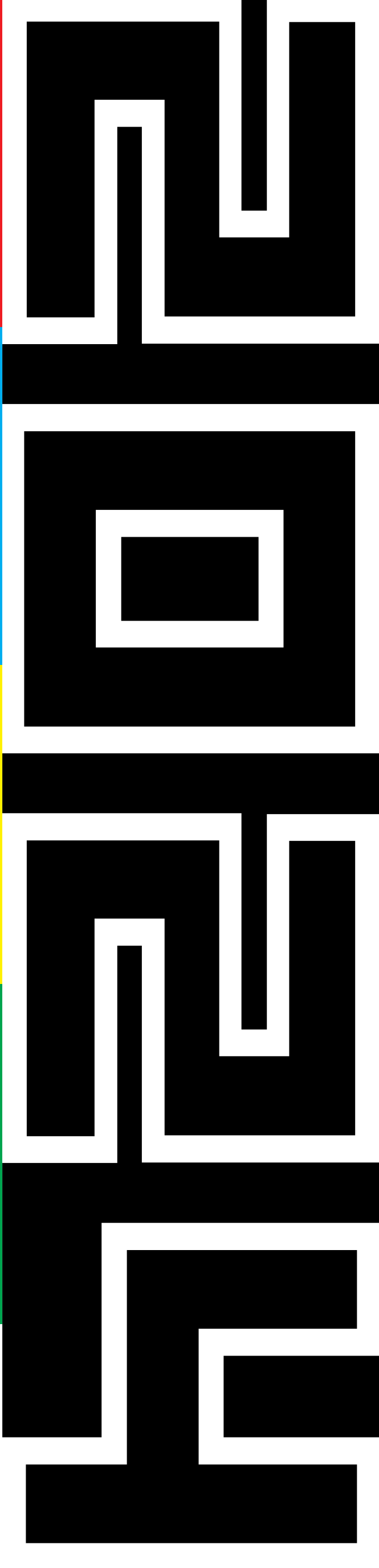
GRAPHIC

DESIGN

PORTFOLIO

ASHIKAWA YUJI

Tokyo Designer Academy



あしかわ ゆう

芦川 結祐

東京デザイナーアカデミーグラフィックデザイン学科 ashuyu0215@gmail.com



PROFILE

出身地:福岡県

誕生日:2005年2月15日

趣味:ゲーム(PCゲーム)

映画(アクション等)

野球観戦(ソフトバンクファン)

食べること

アルバイト:イベントスタッフ

高校時代の部活動:ライフル射撃部



HISTORY

八千代市萱田南小学校入学



八千代市立萱田中学校入学

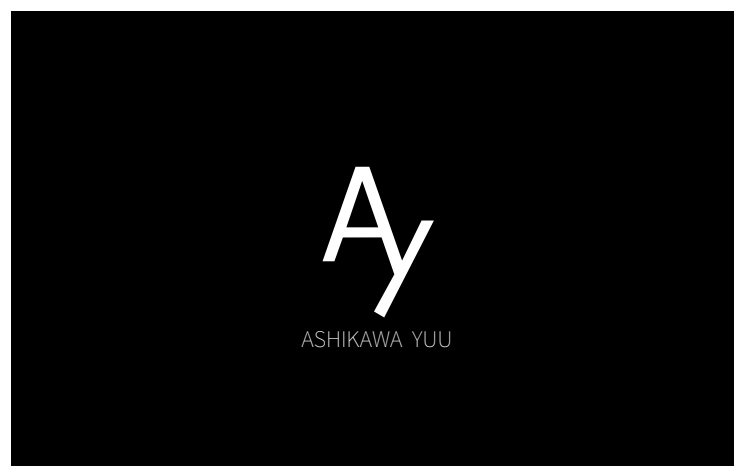


千葉県立佐倉西高校入学



東京デザイナーアカデミー入学

SKILL



INDEX

1 世田谷のまちと暮らしたのちからまちづくり広告

2 カルビーポテトチップス広告青春の塩味

3 ソラジドエア 20 周年広告

4 不二家クッキー広告

5 AC 広告テーマ“いじめ”

6 コカコーライベント広告

7 オリジナルチップス専門店“WRAP SHOP”

8 デザイン雑誌「デザイン」表紙

9 富山パッカーズデザインコンペ

10 名刺デザイン

世田谷のまちと暮らしのちから まちづくりの歩み50年 2024 1.31水～4.27日 生活工房



世田谷区は、鉄道が敷設されたことをきっかけとして1920年街に都市化が始まり、今日にいたるまで東京の郊外として発展してきました。たくさんの方が集まり住むところには、そこに独自の生活文化が生まれます。一世紀に及ぶ都市化のなか、世田谷で発達したそのような生活文化の一つに、「まちづくり」があります。

この言葉が広く世の中の人々に知れ渡るようになったのは1970年代のことです。世田谷区では住民参加を掲げ、1980年代からまちづくりや公共施設の整備が勧められました。また、よりよい地域づくりには区民の参加が不可欠として、1990年代以降、区民のさまざまなまちづくりの活動を支援する仕組みが生まれました。

まちづくりは、世田谷の中でどのように発達し、何を残してきたのでしょうか。そしてそれは地域の人々の「まちと暮らし」をどう豊かにしてきたのでしょうか。

本店では、「まちづくりの空間」、「地形と都市計画」、「グラフィックデザインと都市デザイン」、「ワークショップと道具箱」、「市民のデザイン」の5つのパートにより、世田谷において住民参加のまちづくりがくり出してきた「まち」と、そこで繰り広げられてきた「暮らし」を見渡します。

未来の世田谷 2024年3月17日(日)

13:00~18:00
生活工房セミナールーム AB
(キャロットタワー5階)

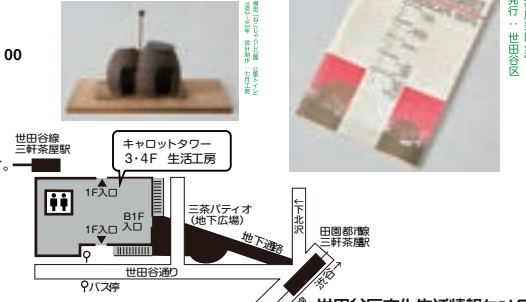
現在の活動から見えてくる「50年先の世田谷のまちづくり」とは？
4つのテーマ・事例から、それぞれ活動の実践者である市民の方と企業の方にお話を伺います。



関連企画

「KOMAZAWA MOAI FARM から始まる駒沢のまちと駅のこれから」
登壇：株式会社イマックス、東急電鉄株式会社
「下北沢で働く～誰かのやってみたくが街とつながるワークプレイス～」
登壇：株式会社ヒカラムディア、株式会社はこぶん、京王電鉄株式会社
「公共施設を核とした新たなコミュニティづくり」
登壇：さくら花堂の会、まもりやまテラスの会、株式会社世田谷サービス公社
「企業と市民が連携した『緑の基軸づくり』～下北沢の事例から」
登壇：一般社団法人シモキタ園藝部、小田急電鉄株式会社
進行＝齋藤伸 (東京都立大学教授)、橋たか (まちづくりプランナー) 参加費＝無料 定員＝会場80名 / オンライン100名 (申込先着順) 申込方法＝2023年12月25日10:00より生活工房 WEB サイトにて受付

ちかくのとく vol.06
2024年2月3日(土) 14:00~16:00
生活工房セミナールーム B
(キャロットタワー5階)
世田谷区内でユニークな活動を行う方をゲストに招き、お話を伺うトークシリーズです。今回は特別編として展覧会実行委員会のメンバーが本展の内容を深掘りします。ゲスト＝齋藤伸 (東京都立大学教授)、齋藤啓子 (武蔵野美術大学教授)
進行＝市川徹 (まちづくりコーディネーター) 記録＝千葉晋也 (まちづくりデザイナー) 参加費＝会場200円 / オンライン無料 定員＝会場20名 / オンライン100名 (申込先着順) 申込方法＝2023年12月25日10:00より生活工房 WEB サイトにて受付 ※このほかの関連企画に際しては、詳細決まり次第 WEB サイト等でお知らせします。



東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅直結
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所下車
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1
TEL 03-5432-1543 www.setagaya-ldc.net

世田谷区文化情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

この作品について

この作品は「世田谷のまちと暮らしのちから」というイベントのチラシをデザインしました。表紙のコンセプトは高層ビルと自然が共生している様子をデザインしました。マインクラフトで作られたような街並みをデザインして、子供などの目にもつくようにしました。

制作期間 2週間

制作ツール



世田谷のまちと

暮らしのちから

まちづくりの歩み50年

2024

1.31水～4.27日

9:00～21:00

入場無料・月曜休み

会場 **生活工房**

生活工房ギャラリーワークショップルームB
「三元茶屋」駅直結キャロットタワー3・4
〒157-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1
TEL03-5432-1643

主催
世田谷まちづくり展実行委員会
公益財団法人せたがや文化財団生活工房
一般財団法人世田谷トラストまちづくり

助成
公益財団法人東京都都市づくり公社

後援
世田谷区
世田谷区教育委員会

世田谷区文化・生活情報センター

生活工房

Lifestyle Design Center



カルビーポテトチップス広告青春の塩味



この作品について

この作品は「カルビーポテトチップス”青春の塩味”」という商品の広告になっています。電車の中吊り広告を基本媒体としていて表裏で使用します。キャッチコピーの”勉強が進まない美味さ”と”勉強のおつまみに”というのは勉強中に食べれば病みつきで勉強が進まなくなるという意味です。

制作期間 2週間

制作ツール





Solaseed Air

東京
名古屋 ~ 九州
随時運行中!

ソラシドエアは今年で

20周年

この作品について

この作品は「ソラシドエア就航 20 周年」を記念とした制作した広告です。横長広告の方はイラストのようにしました。縦長広告の方は飛行機に搭乗した際に、撮影した写真を使用しています。

制作期間 2週間

制作ツール



ソラシドエア就航20周年

～これからも皆様の安全をお守りいたします～

いつもの何気ない時間を少し**豪華**に



 **不二家**
FUJIYA

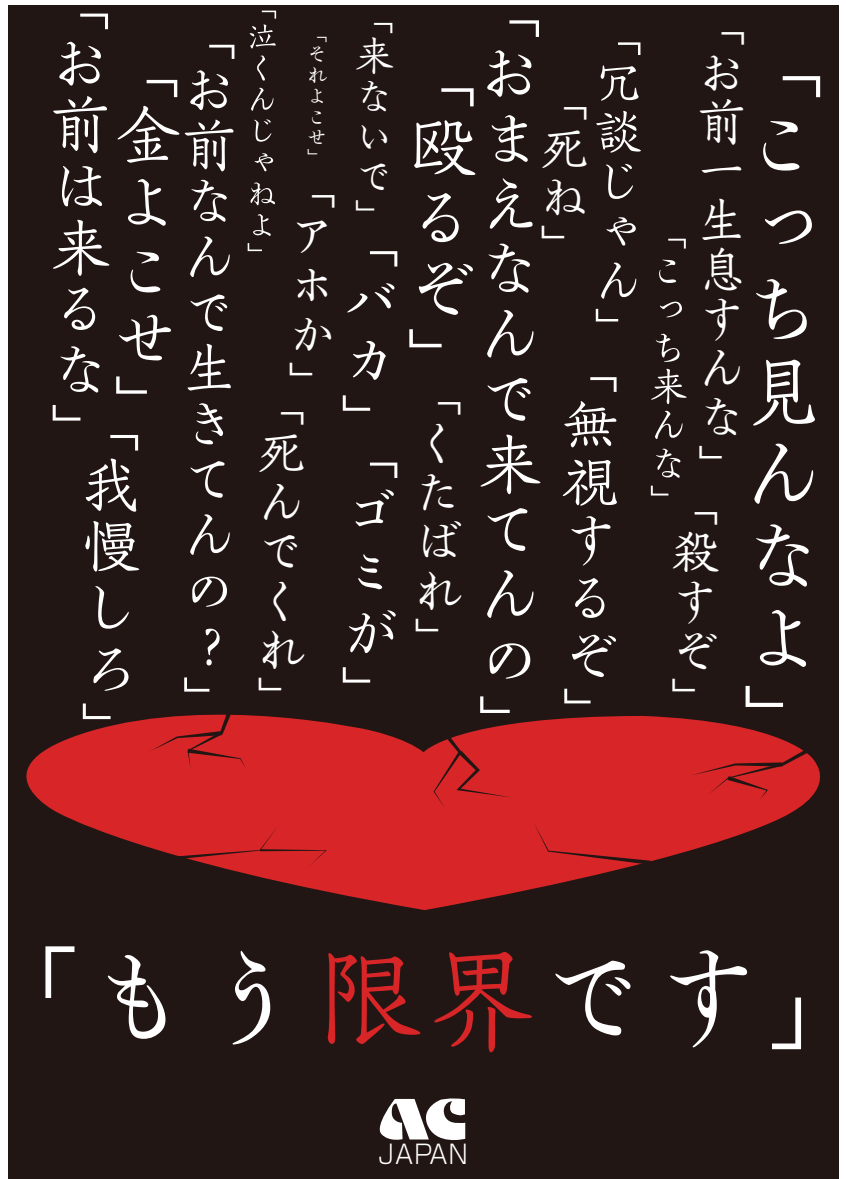
この作品について

この作品は不二家のケーキ広告をイメージして作成しました。コンセプトは外国の優雅な3時のティータイムをイメージとしています。キャッチフレーズの“いつもの何気ない時間を少し**豪華**に”というものになっています。

制作期間 2週間

制作ツール





この作品について

この作品は「ACJAPAN いじめ広告」を作成しました。キャッチコピーの”もう限界です”というのは誰かに悪口を言われて心が限界でもう壊れそうというのを表しています。2つの作品ごとに心の壊れ方が違います。

制作期間 2週間

制作ツール



Echika 表参道 × *Coca-Cola*



人生で一番の刺激をあなたに

HOT COKE
2024 8.1»»8.31
Echikao 表参道

イベント期間中にスタンプを集めることで素敵なプレゼントをゲット!!
引き換え期間：2024年8月1日～8月31日
対象店舗：Echika 表参道内全店舗

この作品について

この作品は「Echikao 表参道」で開催されるコココーラのイベントの駅張り広告を作成しました。イベント名の「HOT COKE」というのはこのイベントの開催時期が夏ということあるのでキャッチコピーと同様に暑い夏を連想させるような名前にしようと思いデザインしました。

制作期間 2週間

制作ツール





この作品について

この作品はオリジナルラッピング専門店をデザインした時に作成したものです。ラッピングのデザインは様々な季節やイベント行事を想定して作成しました。ロゴのデザインは店の名前を手で包み込むようなデザインにしました。

制作期間 2週間

制作ツール



ロゴマーク



色彩設計

メインカラー



C = 100%, M = 100%
Y = 53.5%, K = 3.91%

サブカラー



C = 10.9%, M = 98.4%
Y = 100%, K = 0%



C = 64%, M = 0%
Y = 100%, K = 0%



C = 0%, M = 100%
Y = 0%, K = 0%

クライアントイメージ

このお店の店主は、女性で年齢は50代、とても優しく困っている人がいたら迷わず助けるような人間です。一方その性格からきているのが良くも悪くも人からの頼み事を断ることができません。そしてこのお店を立ち上げたのも故郷の商店街がどんどん店を閉めていくのを見て自分がこの商店街商店街を少しでいいから力になりたいという思いから思い勤めていたデザイナーの会社をやめ30代後半でラッピング専門店を開くということになりました。

店舗の特徴・立地イメージ

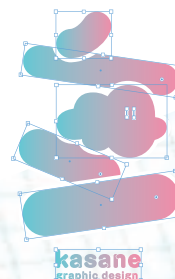
このお店は最初からその季節にあったデザインの包装紙かオーダーメイドの2種類あります。オーダーメイドの方はまず最初に下の色を決めてもらい次にキャラクターや模様などを決めてもらいます。そして最後にリボンなどを決めてもらいそうして世界に一つの包装紙が完成します。包装紙のサイズもさまざまなものに対応しています。お店は店主一人で切り盛りしています。建物の立地は千葉県柏市にある二番街商店街という場所にあります。

デザインコンセプト

包装紙というのはプレゼントを傷つけないようにするため、渡す相手に見えなくすることでワクワクさせるためなどの使い方があります。そのため包むために使用した包装紙は、捨ててしまうことが多いと思います。このお店は包装紙を繰り返し使いたいと思っていただけるような包装紙を作っています。包装紙のデザインとしてはその季節や用途にあったデザインを作るようにしておりオーダーメイドなども担当しています。

ターゲット・ペルソナ設定

お客さんは近所の人やお孫さんへの誕生日プレゼント・入学記念など家族連れをターゲットとしています。色々なたくさんの人に来てもらうとゆより沢山の近所のお得意様を作ることがターゲットです。このお店に来る人はちゃんとそのプレゼントに合う包装を求めています。そして、お客様に納得していただけるものを提供していくためオーダーメイドなどを行っています。

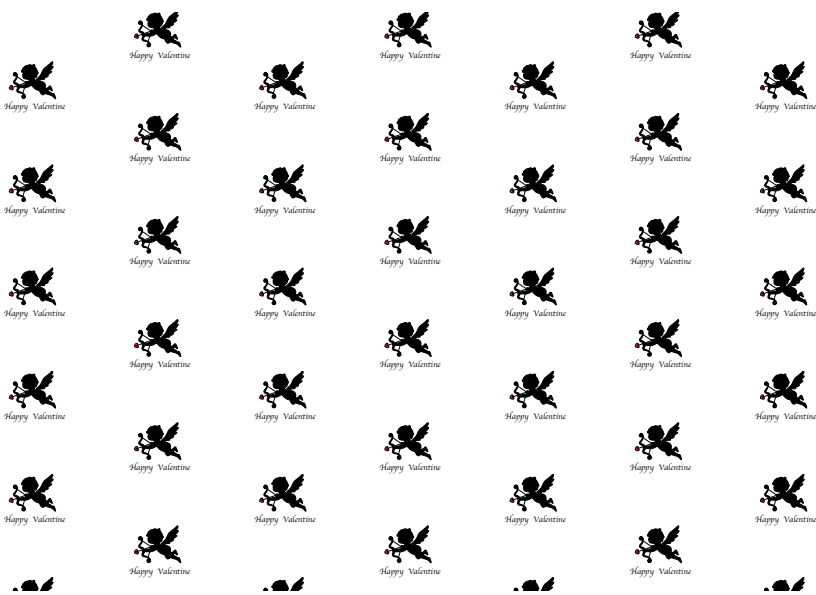




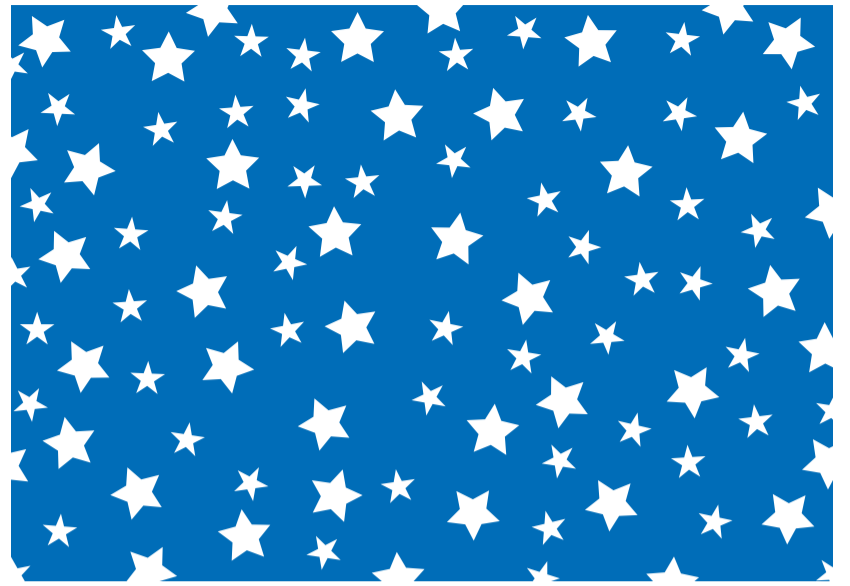
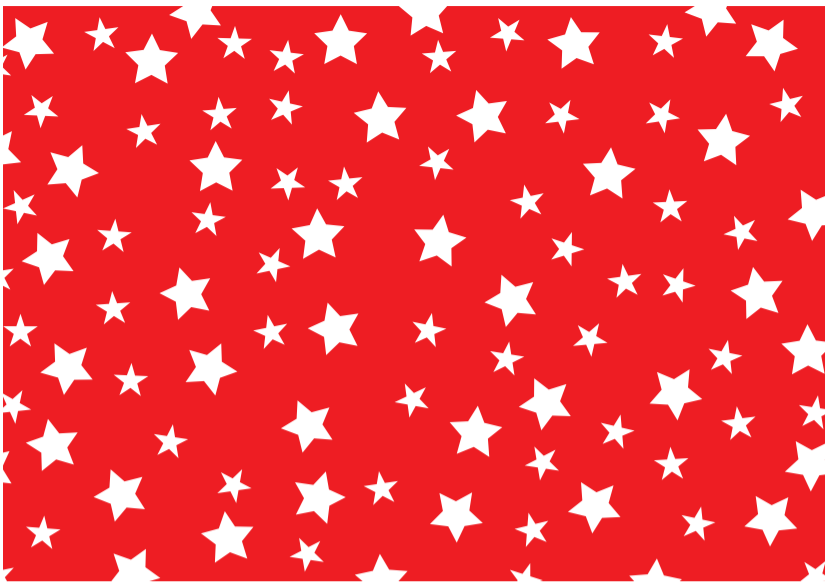
ロゴデザイン



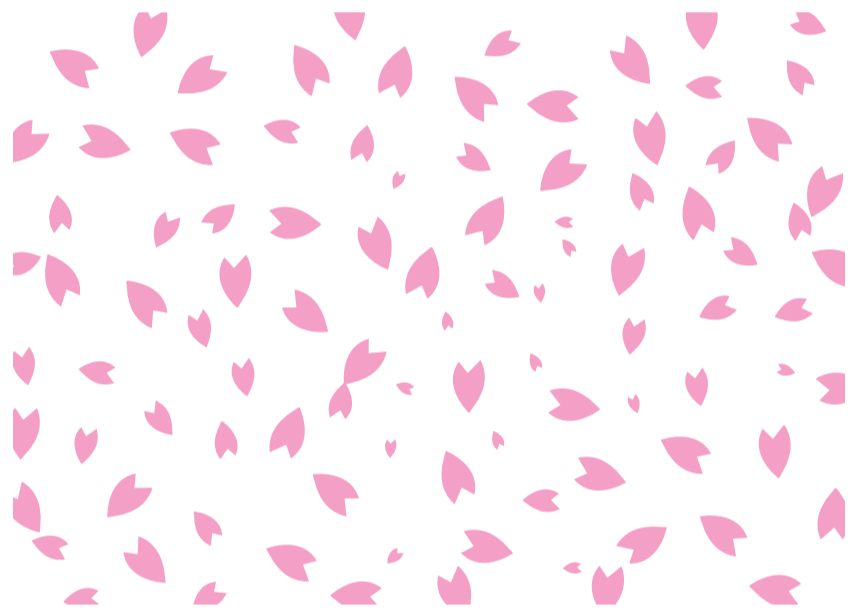
クリスマスラッピング



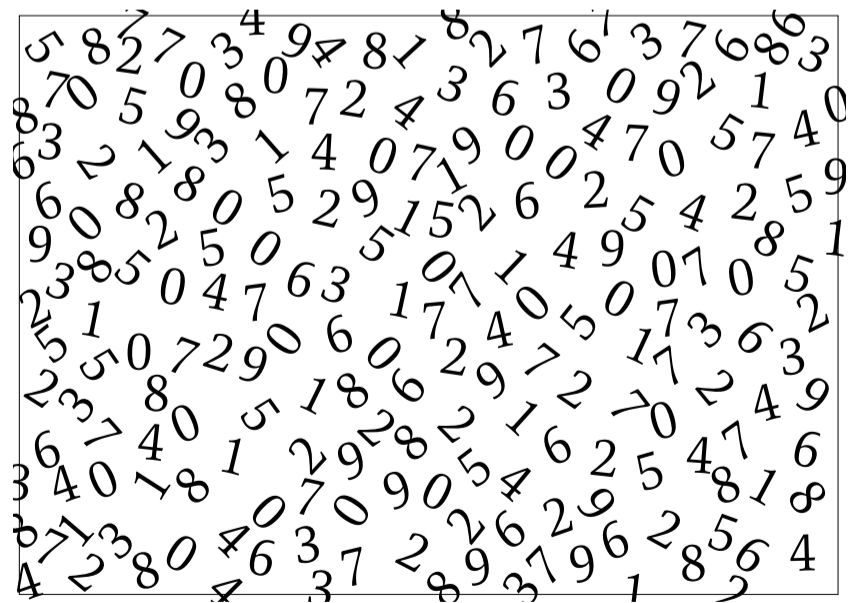
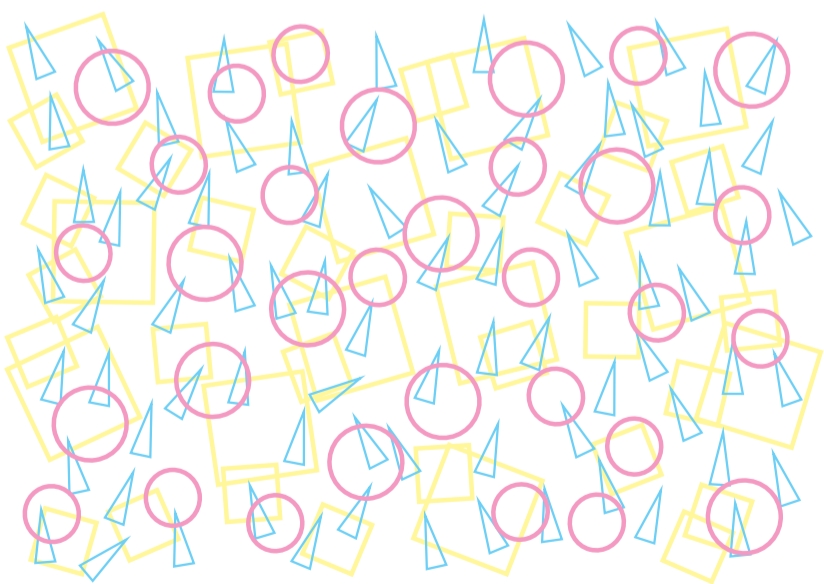
ヴァレンタインラッピング



子供向け誕生日プレゼント

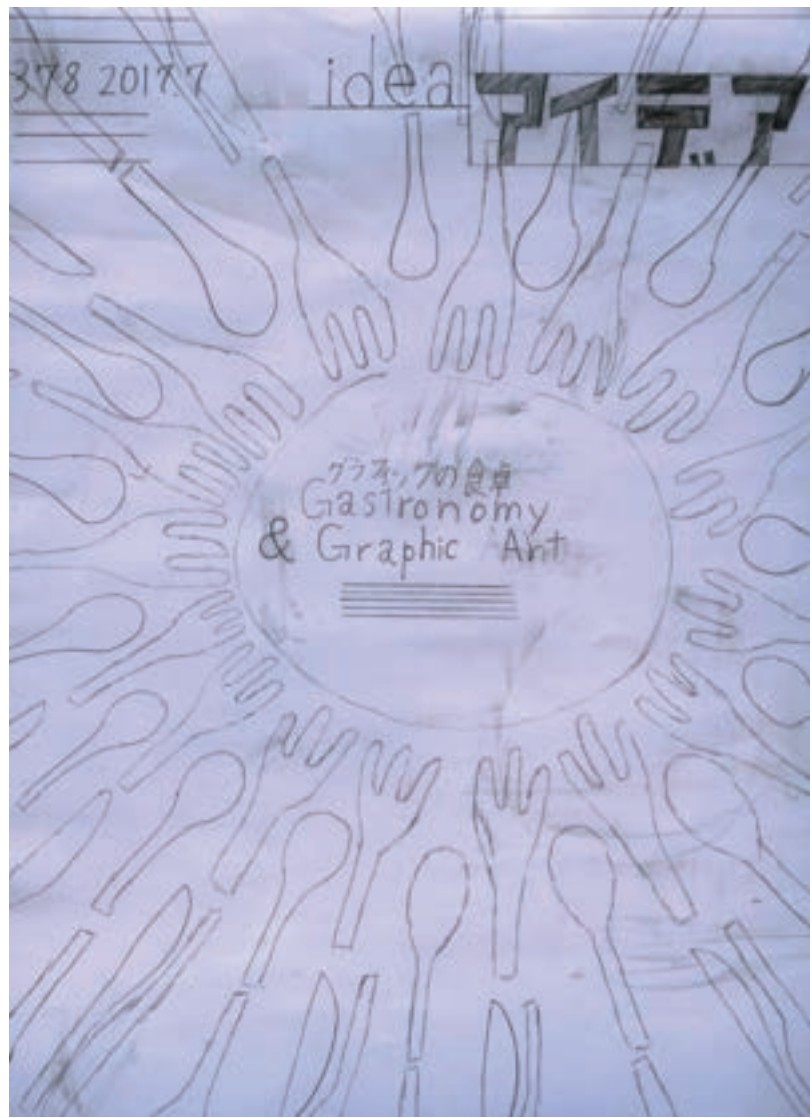
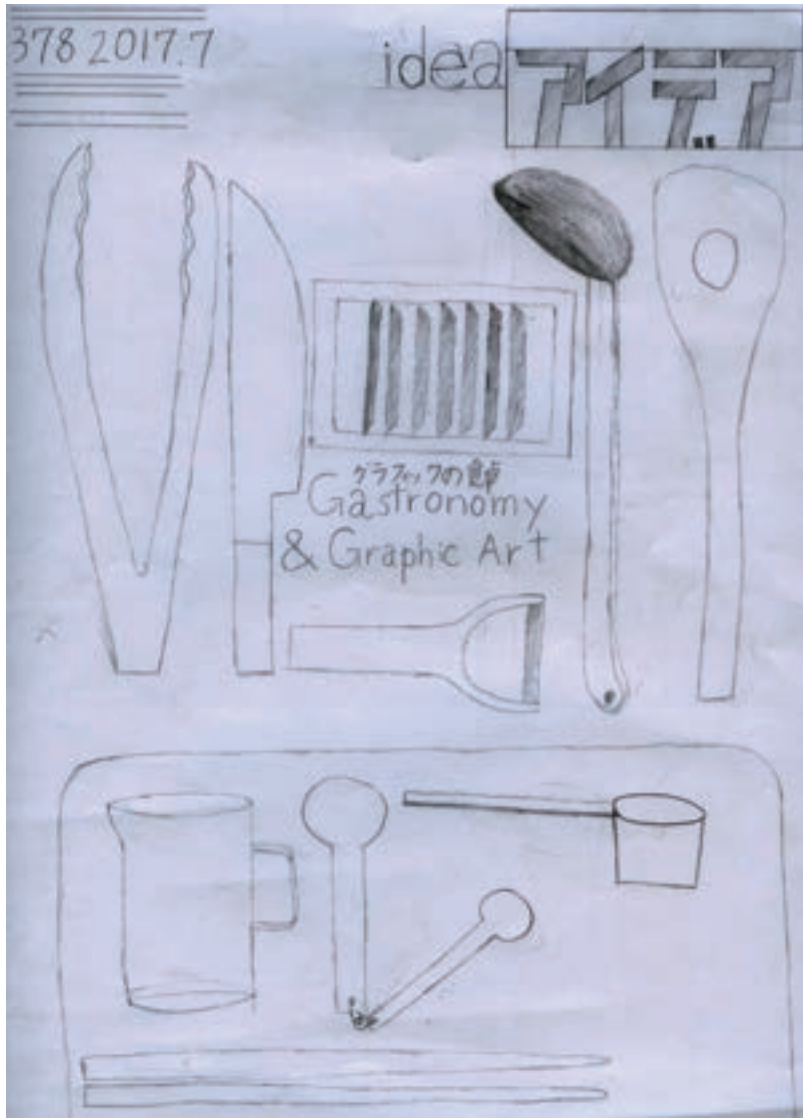


入学記念ラッピング



オーダーメイドを想定したラッピング

《ラフスケッチ》



この作品について

この作品は「デザイン雑誌アイデア」の表紙を作成しました。ラフスケッチの段階で食器や食べ物の断面など様々なアイデアが出ました。完成形は家族で食卓を囲っている場面を再現しています。

制作期間 3週間

制作ツール



2017年6月10日発行・発売・第66巻・第3号・通巻378号
(季刊3・6・9・12月10日発行・発売) ISSN 0018-1299

378 2017.7

International
graphic art and
typography

世界のデザイン誌
誠文堂新光社

idea アイデア

グラフィックの食卓
Gastronomy
& Graphic Art

F.T.Marinetti & the Futurist Cookbook
Les Mason & Epicurean
Mitsuno Katami & Okusama Techo
Gianni Sassi & La Gola
Herman Miller Picnic Posters
IKEA & Homemade is Best
Food Culture Magazines
Karl Gerstner's Avant Garde Kitchen
Days of Trattoria: Socially of Eating



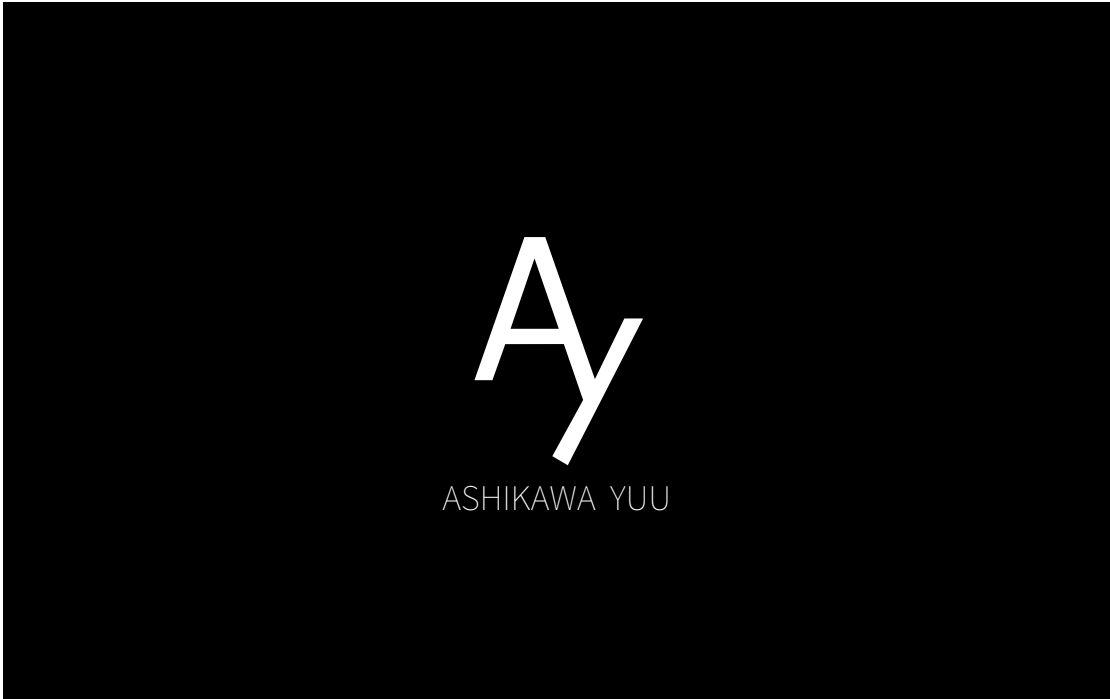
この作品について

この作品は「富山パッケージデザインコンペ」の作品になっています。富山のうどんを包むというのがテーマになっていてパッケージの形が桶になっています。

制作期間 1ヶ月

制作ツール





この作品について

この作品は、自分の名刺をデザインするというテーマで作成しました。シンプルに読みやすくわかりやすいというのをコンセプトにして作成しました。ロゴのデザインは自分の名前の頭文字を組み合わせました。

制作期間 1ヶ月

制作ツール



THANK YOU...